

陳 情 文 書 表

(令和8年3月19日)

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第188号(8.3.11) 神戸市バス37系統のダイヤ編成、運行本数の再検討を求める陳情
陳情の要旨	1. JR住吉駅行きの午前9時台と阪急御影駅行きを復活させること。 2. JR甲南山手駅へ往復できるように運行を再検討すること。 3. 37系統Aで住吉駅北停留所まで行けるようにすること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市東灘区 坂田邦子
送付委員会	都市交通委員会

2026年3月11日

神戸市議会議長 様

神戸市東灘区

市民の足を守る東灘区の会
市バス37系統問題深江の会

神戸市東灘区

坂田 邦子



神戸市バス37系統のダイヤ編成、運行本数の再検討を求める陳情

37系統バスが、大幅減便されて、4月で1年になります。

大幅減便された為、病院を変えたり、買物に行くのを減らしたり、外出を控える人達もいます。

JR甲南山手駅行きが、毎時50分に1便だったのが、午前中2便、夕方1便になったため、通院の帰りは、今も困っています。

JR住吉駅行きは、9時台がないため、深江南町2丁目発8時37分に乗客が集中します。座席も立ち客もいっぱいです。9時台の便を復活して下さい。

なお、37系統Aコースを、住吉駅北のバス停まで伸ばして下さい。できれば、阪急御影駅まで伸ばして下さい。

赤字が続いて大変なことは承知いたしておりますが、高齢者の住民が多いため、足を奪われるのは、生活も困難、家計も困難になってきています。

ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

陳情項目

- ①JR住吉駅行きの午前9時台を復活と阪急御影駅行きの復活をして下さい。
- ②JR甲南山手駅へ往復できるよう運行を再検討して下さい。
- ③37系統Aで住吉駅北停留所まで行けるようにして下さい。

神戸市バス37系統のダイヤ編成・運行本数の再検討を求める陳情

陳情第188号

交通局

陳 情 要 旨 等	
陳情者	神戸市東灘区 市民の足を守る東灘区の会 市バス37系統問題深江の会 坂田 邦子
陳情要旨	「神戸市バス 37 系統のダイヤ編成・運行本数の再検討を求める陳情」について 【陳情第 188 号】 1. JR 住吉駅行きの午前 9 時台及び阪急御影駅行きを復活すること 2. JR 甲南山手駅へ往復できるよう再検討すること 3. 37 系統 A で住吉駅北停留所まで行けるようにすること
陳 情 に 対 す る 神 戸 市 の 考 え 方	
<p>市バス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動需要の減少や変化、少子高齢化や人口減少社会の到来に加え、昨今の原油高・物価高等による諸経費の増加、また運転士の担い手不足が全国的にバス事業経営に大きな影響を及ぼすなど、事業経営を取り巻く環境は極めて厳しく、市バス事業はこれまで経験したことのない危機的な状況にある。</p> <p>市バス事業は令和 6 年度決算において、企業債残高は 97 億円、資金不足比率は 19.6%であった。資金不足比率が 20%を超えると経営健全化団体となり、経営改善に向け抜本的な対策、具体的には、運賃の大幅値上げ、路線廃止、大幅な減便など、急激な利用者負担の増加に踏み込まなければならなくなる可能性がある。</p> <p>1. 37 系統 (37A・37B) の路線変更について</p> <p>将来にわたり市民の足を守っていく、最寄りの鉄道駅までの移動手段を確保していくためには、現状の路線・運行本数をそのまま維持していくことは困難であることから、令和 7 年 4 月に東灘・灘エリアを中心とした路線見直しを実施した。</p> <p>このたびの 37 系統の変更については、以下の状況を踏まえ、検討を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旧 37 系統の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 深江南町地域など、バス路線が生活に不可欠な地域や、37 系統のみが運行しているバス停については、最寄り鉄道駅へのアクセスを維持していく必要がある。 ・ 一運行約 16.2km、所要時間 90 分以上と非常に長大な路線であり、道路状況の影響を受けやすく遅延が発生しやすいなど、運行効率が悪い状況であった。 ・ 利用データ（2タッチデータ）を分析した結果、特に日中時間帯や JR 甲南山手を発着する区間など、ご利用の少ない区間・時間帯が見られた。（別紙 1 参照） ・ 結果として、営業係数は 222 と収支状況も大変厳しい状況にあった。 ○ 路線変更の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧 37 系統の課題を解決するため、2 タッチデータによる利用状況も踏まえ、需要と供給のバランスを図るべく、JR 住吉駅前での系統分割、一部ルートの変更、35 系統との連続運行による効率化、利用実態に応じた運行本数の設定等を実施した。（別紙 2 参照） <p>この変更により、37 系統の運行 1 キロあたりのご乗車人数は令和 6 年度（4～2 月）の月平均 2.34 人から令和 7 年度（4～2 月）は 2.63 人と 1 割以上改善した。</p> <p>2. 陳情事項への考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JR 住吉駅行きの午前 9 時台及び阪急御影駅行きを復活すること ② JR 甲南山手駅へ往復できるよう再検討すること <ul style="list-style-type: none"> ・このたびの路線及びダイヤ変更は、路線全体の持続可能性を確保することを最優先に、人員や車両等の限られた経営資源を、より乗車需要の多い時間帯や区間に重点的に配分するという観点で実施した。 ・そのため、37 系統沿線からは阪神深江を経由して JR 住吉へ連絡する移動手段を確保することを基 	

本とした。一方、JR 甲南山手は、日中時間帯において1便あたり2～3名程度のご利用に留まる状況ではあるものの、朝・夕の時間帯は一定の乗車需要があることから、甲南山手～深江間の運行ダイヤを維持することとした。

- ・深江南町からは鉄道駅である阪神深江・JR 住吉もしくは JR 甲南山手へ向かう便を、概ね1時間に1便以上確保している。(別紙3参照)
- ・これらは年間4,200万円の赤字を計上していた37系統自体を維持しつづけるための取り組みであり、ご理解をいただきたい。

③37系統Aで住吉駅北停留所まで行けるようにすること

- ・この度の路線及びダイヤ変更は、路線網全体を維持することを目的として、単独路線個別ではなく、エリアの路線全体を複合的に関連付けた運行効率の最適化を行っている。
- ・旧37系統は一周16.2km、所要時間90分を超える長大な路線であり、非常に運行効率が悪いという課題があった。加えて、深江南町方面から阪急御影方面への直通利用は旧37系統全体の4.4%と僅少であったことも考慮し、利用動向の結節点でもあるJR住吉駅前で分割し、35系統との連続運行を行うことにより効率化を図った。
- ・その上で、35系統との連続運行となる日中時間帯においては、国道2号線北側の東行のりばへ37A系統を停車させることにより、バス停前の商業施設のエスカレーター等を利用して、JR住吉駅や駅北側へスムーズに移動していただくことができ、他のバス路線への乗り換えの円滑化や35系統との連携により東灘区役所へのアクセスも可能としているなど、お客様の利便性向上を図った。(別紙4参照)

3. お問い合わせ状況、今後の方針

37系統に関するお問い合わせは、令和7年3月は20件、4月36件、5月13件、6月4件、7月から今年2月までの8ヶ月で計15件であった。これまで何等かの対応が必要な御意見や情報は頂戴していない。

市バス事業は大変厳しい経営環境にあるが、市民の皆様の日常生活を支える公共交通としての役割を認識し、引き続き2タッチデータ等の客観的な指標を用いて需給バランスを図り、公共交通ネットワークの維持、最寄り鉄道駅までの移動手段の確保に努めてまいりたい。

1. 2タッチデータによる利用状況

- ・日中時間帯においてご利用の少ない区間・時間帯が見られた。
- ・特に JR 甲南山手駅、東灘本庄町、東灘小学校前の各停留所からの乗降者は、日中時間帯において1便あたり2～4名程度と極めて限定的であったため、利用実態を踏まえ、日中の JR 甲南山手への乗り入れを見直し、朝夕の需要に応じた運行とした。

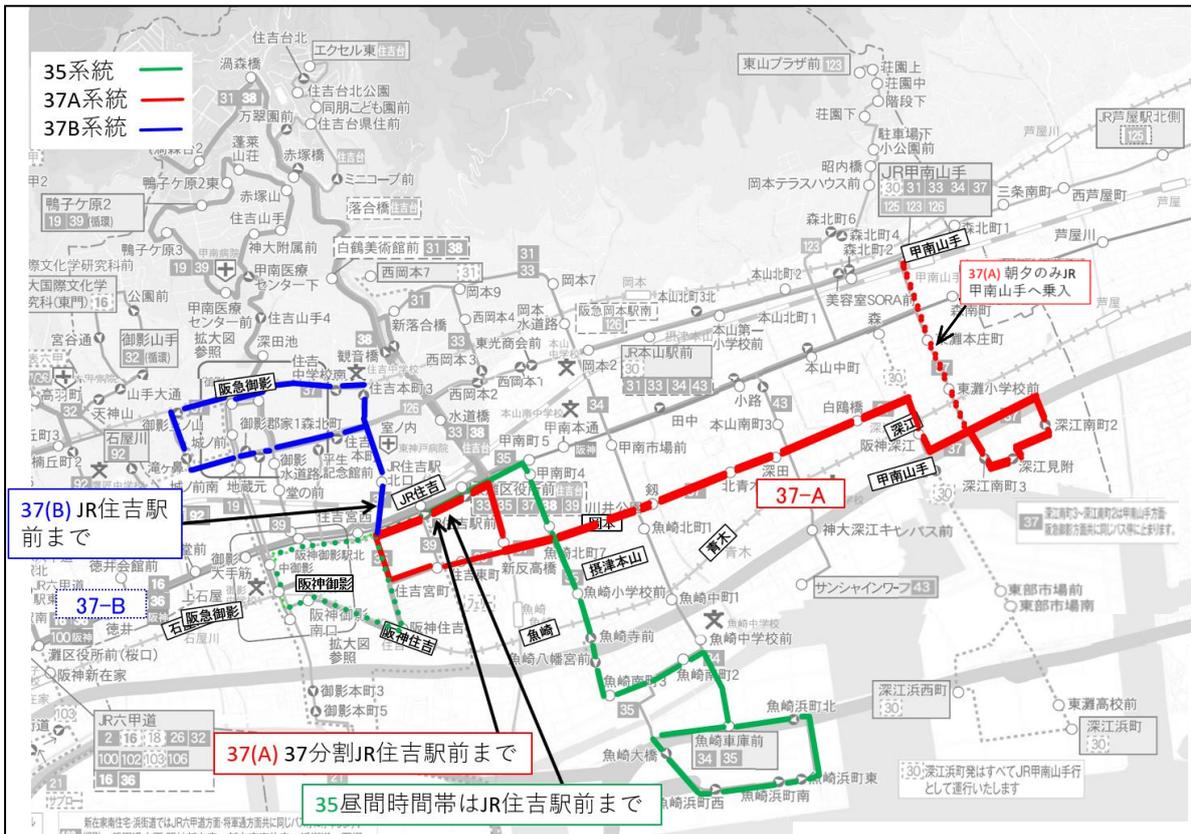
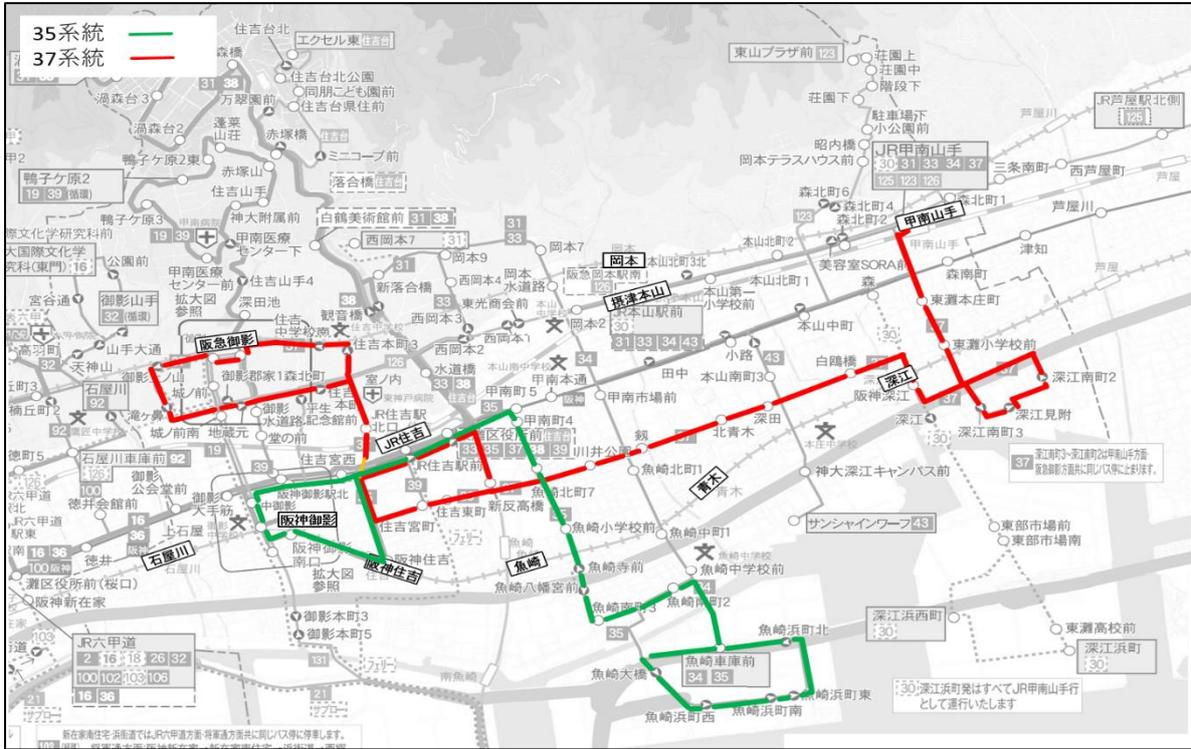
▼旧 37 系統全停留所乗車データ 2025.1～3【平日平均】

凡例： 5名未満 10名未満

時間帯	始発時分	JR 甲南山手	東灘本庄町	東灘小学校前	深江南3	深江見附	深江南2	阪神深江	白鷗橋	深田	北青木	劔	川井公園	新反高橋	東灘区役所前	JR 住吉駅前	JR 住吉駅北口	住吉本町3	住吉中学校南	阪急御影	御影上ノ山	滝ヶ鼻	地藏元	住吉本町	JR 住吉駅北口	JR 住吉駅前	東灘区役所前	新反高橋	川井公園	劔	北青木	深田	白鷗橋	阪神深江	深江南3	深江見附	深江南2	東灘小学校前	東灘本庄町	JR 甲南山手	
7	740	1	1	2	2	3	6	5	7	10	12	13	15	14	14	11	9	7	6	3	5	7	8	10	6	6	4	5	4	4	4	4	2	1	3	5	8	9	8	0	
8	828	1	1	2	4	6	11	11	10	12	13	12	14	15	12	10	5	4	5	2	5	8	9	8	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	6	10	9	8	0	
9	916	2	2	3	7	9	14	12	12	13	14	15	16	17	13	9	6	5	5	2	5	7	8	8	5	5	5	4	4	5	5	6	5	5	4	5	7	7	6	0	
10	1004	3	3	4	5	7	12	10	12	13	12	13	14	15	10	9	7	7	7	5	5	6	7	7	5	6	8	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	5	5	4	0
	1052	3	3	4	4	6	10	7	8	9	9	10	11	11	9	7	6	6	6	5	4	3	3	4	4	6	8	8	7	7	7	6	5	5	4	4	4	4	4	0	
11	1140	3	4	5	5	6	7	8	7	8	9	9	9	9	7	6	6	6	6	4	4	5	5	6	7	11	11	10	10	10	10	9	8	8	8	7	5	3	3	2	0
12	1228	3	4	4	6	6	8	9	10	11	13	14	13	13	9	8	7	7	6	4	3	4	5	5	5	9	10	9	8	8	7	6	6	6	6	5	4	3	3	0	
13	1316	2	3	3	4	4	6	6	8	8	9	9	10	10	7	6	5	4	4	2	3	4	4	4	4	7	8	7	6	6	5	5	5	6	6	4	3	3	3	0	
14	1404	2	3	3	3	3	5	5	6	6	7	7	8	9	8	6	6	7	6	4	5	5	6	6	6	8	10	10	10	9	7	6	6	6	6	5	3	2	3	0	
	1452	2	3	3	3	3	4	5	5	5	5	6	8	8	7	7	7	6	4	4	4	5	6	5	6	9	11	11	10	9	8	8	7	7	6	5	1	1	2	0	
15	1540	4	4	4	4	4	4	4	5	6	6	6	7	8	7	6	8	6	6	5	3	3	4	4	5	8	9	9	8	8	7	6	5	6	6	4	2	1	1	0	
16	1628	3	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	4	4	6	6	6	5	4	4	4	4	4	6	7	7	7	7	7	5	5	6	6	4	2	2	1	0	
17	1716	2	3	3	3	3	2	3	3	4	5	6	6	6	5	5	7	6	6	4	3	3	3	3	4	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3	2	1	1	1	0	
18	1804	2	2	3	3	3	2	2	2	5	5	5	5	5	4	4	5	5	6	5	2	2	2	2	2	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	0	

2. 課題をふまえた 37 系統の路線変更 (2025.4.1 実施)

- ・ JR 住吉駅前を境に 37A 系統と 37B 系統に分割。
- ・ 日中時間帯は 37A 系統・37B 系統と 35 系統を連続して運行することで、車両運用の効率化を図る。これにより、JR 住吉駅をまたいでの引き続きの乗車も一部可能。
- ・ 37A 系統の JR 甲南山手への乗り入れは、利用実態を踏まえ朝夕のみとしている。



3. 路線変更後のダイヤ

○深江南町2丁目停留所時刻表

▼JR住吉方面行き

行先 Destination		37A JR住吉駅前 JR Sumiyoshi Sta.	
時	平日 Weekdays	土曜・日祝 Saturdays and Holidays	時
5			5
6			6
7	50	50	7
8	37	37	8
9			9
10	15	15	10
11	01.	01.	11
12	01., 58.	01., 58.	12
13	58.	58.	13
14			14
15	01.	01.	15
16	01., 58.	01., 58.	16
17			17
18	14	14	18
19			19
20			20
21			21
22			22
23			23

備考 全車ノンステップバスまたはワンステップバス
▲印は往客のみ
お問い合わせは石屋川営業所 841-5352まで

▼JR甲南山手方面行き

行先 Destination		37A JR甲南山手 JR Konanymate Sta.	
時	平日 Weekdays	土曜・日祝 Saturdays and Holidays	時
5			5
6			6
7			7
8	56 _≒	56 _≒	8
9	43 _≒	43 _≒	9
10			10
11			11
12			12
13			13
14			14
15			15
16			16
17	46 _≒	46 _≒	17
18			18
19			19
20			20
21			21
22			22
23			23

備考 全車ノンステップバスまたはワンステップバス
甲印はJR甲南山手ゆき
お問い合わせは石屋川営業所 841-5352まで

4. JR住吉駅前のりばのご案内 (参考)

- ・37A系統（深江方面から）の日中便は、JR住吉駅前（東向き）のりばに停車後、35系統として連続運行する。
- ・この変更により、JR駅や駅北側へ向かわれるお客様が、交通量の多い国道2号線を横断する必要がなくなる。また、他の主要バス路線との乗り換えもスムーズに行える。

▼JR住吉駅前 バスのりば案内図



= 今回陳情の停留所